

平成30年度

萩市消費生活モニター通信①



©萩市消費生活センター

萩市 消費生活センター

# 萩市消費生活モニター通信① 目次

過払い金の返還 .....	1
架空請求 .....	1
架空請求 .....	2
支払い方法について .....	2
セルフ精算機について .....	3
DVについて .....	3
萩・長門清掃工場「はなもゆ」の施設見学をして.....	4
エコプラザ・萩、大井不燃物埋立処分場、浄化センター の施設見学・研修会に参加して .....	4
縁石について .....	5
災害について .....	5~6
子育て支援について .....	7~8

## 過払い金の返還

最近、テレビで「過払い金の返還」のことをよく見ます。

借入れをして過払いとは、どうしてそのようになるのかと、いつも思います。情報があれば、教えてほしいです。

(消費生活センター)

「過払い金」とは、借主が貸主である貸金業者に返済しすぎた金額のことです。過去に利息制限法の制限利率を超える利率で借入れ、約定どおりに返済している場合は、制限利率を超えた利息部分は本来返済する必要のない利息です。平成22年6月18日以降は、利息制限法を超える利息の約束が禁止されましたが、それ以前から上限利率を超えた利息で返済していた場合は、過払い金発生可能性があります。この利息を債務元金残高に充当するひき直し計算を行った結果、実質の元金残高はゼロになり、本来なら返済する義務がないお金が発生した場合に、そのお金のことを「過払い金」と言い、訴訟や交渉によって返還してもらうことができます。

「過払い金」は、借金の返済を終えた時から、10年を経過するまで請求できます。この期間、貸金業者は借主から請求があれば、最初の貸し付けから取引終了までの履歴を開示しなければなりません。

(注) 利息制限法の制限利率とは、金融業者から借り入れた金額が10万円未満では年20%、10万円以上100万円未満では年18%、100万円以上では年15%としている。



## 架空請求

「振り込め詐欺のハガキ」の2弾目が届いていると聞きましたが、本当でしょうか？ 教えてほしいです。

(消費生活センター)

全国の消費生活センター等に寄せられた架空請求に関する相談件数は、平成23年度以降、年々増加傾向にあり、平成29年度の相談件数は約20万件となり、前年度比で2倍以上に急増しています。萩市でも全国同様に60代前後の女性に架空請求ハガキが届いているとの相談が急増しています。中にはご指摘のとおり、1人に2通目の架空請求のハガキが届いているという相談も時々受けています。

萩市でも市報や出前講座等で架空請求による消費者被害をなくすための注意喚起は行っていますが、もし近くに架空請求ハガキが届いて困っている人がおられたら、消費生活センターをご案内ください。

**消費料金に関する  
訴訟最終告知のお知らせ**

この度、ご通知致しましたのは、貴方の利用されている契約会社、もしくは運賃会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事をご通知致します。

管理番号(わ)308 裁判取り下げ最終期日を以て訴訟を整理させていただきます。

尚、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的に受審され、執行官立会いの下、給与差し押さえ及び不動産の差し押さえを強制的に執行させていただきますので、裁判所執行官による執行職務の交付をご承諾いただきますようお願い致します。

裁判取り下げなどのご相談に關しましては、当局にて承っておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

尚、書面での送達となりますので、プライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきます様、お願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成28年11月17日

法務省管轄支局 民間訴訟告知センター  
東京都千代田区霞が関2丁目1番9号  
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-6741-7350  
受付時間 9:00~20:00(日、祝日を除く)

## 架空請求

先日、「法務省訴訟告知センター」を名乗る振り込め詐欺の手紙が届いているという話を聞きました。

これについて、社会に出たばかりの若者が、騙されているとの報道がされています。若者の方が、高齢者より、日頃からインターネットに慣れている分、心当たりが多く、訴訟の仕組みも知らないだろうと思います。

高齢者だけでなく、これから高校、大学を卒業する若者にも重点を置く必要があると思いますが、いかがでしょうか。

(消費生活センター)

法務省の名称等を不正に使用した架空請求が、平成29年5月以降増加しています。

差出人は、「法務省管轄支局 国民訴訟通達センター」、「法務省管轄支局 民事訴訟管理センター」「法務省管轄支局 民間訴訟告知管理センター」「法務省管轄支局国民訴訟お客様管理センター」などと記載されていますが、法務省とは一切関係がありませんので、絶対に連絡をしないようにしてください。


萩市へは、今現在若者からの相談はありませんが、社会に出る前に知識を得ることは、とても大切なことなので、啓発をしていきたいと思います。

## 支払い方法について

学生や若い方の意見で、複数人である飲食店を利用して、支払いをする時に一人ずつ支払うのと、まとめて支払うのと、金額が違い、まとめて支払った人がいくらか負担するようになるということです。

実際にその店で確認をしてみると、メニューの金額の後ろに(税込み〇〇〇)とありました。税込みの金額を足していった金額と、注文した総額(税なし)に消費税をかけた金額では、違いがありました。支払い方法で、金額が違うのはいいのでしょうか?店によっては、税込み価格が打ち込まれているレシートもあります。

(消費生活センター)



お店によって、消費税の取扱いはまちまちです。内税表記のものもあれば、外税表記のものもあります。このケースは、外税表記のものとなります。消費税は、現在、8%です。計算をすると小数点以下の端数ができることがあります。端数を切り捨て、四捨五入、切り上げのどれにするかは業者にまかされていますが、切り捨てが多いようです。

また、外税となっている場合の支払いについては、飲食店に限らず、スーパー等でも、消費税のない金額の総額に、まとめて消費税をかける方法が多いようです。

その場合には、今回のご質問のとおり、メニュー毎に支払いをした方が若干安くなるかと思いますが、店によっては個別対応をしないところもあるようです。

## セルフ精算機について

道の駅で買い物をした時のことです。セルフ精算機が導入されたばかりの様子で、店員さんも使い方を完全に把握されておらず、領収書が必要な買い物でしたので、店員さん同士であたふたされていました。事前に、使い方の研修をされ臨まれば良かったのですが……

あっという間にレジに列が出来てしまうし、お客様対応より店側中心の対応になっていました。

道の駅は、他県のお客様の対応も多いので、接客やセルフ精算機の導入に首をかしげてしまいました。おもてなしをするべきお店に、セルフ精算機が必要なのでしょうか？不満の声を数件、聞いています。

(商工振興課)

自分のペースで買い物をしたい方のニーズにも応えるため、道の駅の直売所にセルフ精算機を導入されたと聞いています。しかし、研修不足や配慮不足により、来客者への対応が疎かになった結果、道の駅全体の印象が悪くなってしまう懸念があるとのことだと思います。

今回のご意見にあるセルフ精算機の導入ということだけに関わらず、他県からの来客者に気持ちよく利用してもらおうとともに、地域の方にも愛される道の駅となるため、おもてなしの心を大切にされた接客等に心がけるように、市としても改善が必要と思われる点については、道の駅の運営者へ話をしていきたいと考えます。

## DVについて

DVについて、数年前より増加傾向にあります。相談する側がどれだけ相談できているのか疑問に思うことがあります。

研修会や講演会等で、様々な機関の相談窓口があることを教えていただきましたが、もっと情報が皆様方に伝わるようにされてはいかがでしょうか？

市外のある病院では、女性用のトイレの個室に相談窓口についての内容が掲示してあり、その隣には同じ内容のカードがたくさん置いてあり、自由に待ち帰りができるようになっています。より多くの場所にそういうものが設置され、1人でも多くの方が相談でき、解決に繋がることを望みます。

(男女共同参画推進室)

ご意見ありがとうございます。

相談件数につきましては、平成29年度は300件あり、そのうちDVに関するものは115件ありました。しかしながら、相談されている方は、一部であると思いますので、より一層の周知が必要です。

現在、一部の病院やスーパー、公共施設等には、萩市女性相談窓口の電話番号等の記載されたカードを設置しています。また、ふるさとまつり等でも、啓発をしているところ。カードの設置場所を増やしたり、機会を捉えて、啓発していきたいです。



### 萩・長門清掃工場「はなもゆ」の施設見学をして

6月の研修に参加して、萩・長門清掃工場「はなもゆ」を見学しました。

ハイテク技術で稼働しているのに驚きました。

太陽光パネル、小型風力発電、マイクロ水力発電や地中熱などの自然エネルギーを活用し、自家発電されていました。

ちょうど、ゴミ収集車などが、どんどん列をつくり入車し、ゴミが投入され、ピットの中のゴミがクレーンでかき混ぜられ、投入ホッパに入れられているのを見学できました。

最終的には、主灰と飛灰に分けられた物が、他施設に運ばれ、セメントの材料になるとのことで、すばらしいと思います。

外の庭にも、かまどになる椅子が数個設置してあり、非常時の備えも完備してあり、災害時の避難場所になるそうで、多機能であることにも、感心しました。

### エコプラザ・萩、大井不燃物埋立処分場、浄化センターの施設見学・研修会に参加して

ごみを資源にと、いろいろな形で取り組んでいますが、規定どおりに出ないごみを人の手で再処理して、随分な労力とお金がかかっていることに驚きました。

ごみを出す誰もが理解して出せるのが理想ですが、私ぐらい良いだろうと安易な気持ちで出したり、仕分けの区分がよく分からない方がいたり難しいと思います。

萩・長門清掃工場「はなもゆ」では、長門市からのごみの量が1,000トン減って、負担料が萩市に多くかかるという話でしたが、長門市はどうして減ったのでしょうか。

また、施設見学のツアーなど年代別に年何回か企画してみるのはいかがでしょうか。意識改革に繋がるような気がします。

(環境衛生課)

長門市では、これまで「燃えるごみ」として収集していたものから、「プラスチック製容器包装類」「紙製容器包装類」の分別収集を平成29年度から開始しました。このため萩・長門清掃工場に搬入される、燃やせるごみが減少しました。

環境衛生課としても、消費生活モニターの皆さんと廃棄物処理施設を巡って意見交換できたことは大変有意義でした。

今後も、ご提案いただいたように、各世代の方々と年数回程度見学ツアーを開催し、

ごみに関する実態を理解していただけるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 縁石について

雨が降り続いていた日に運転をしていたら、交差点で縁石に乗り上げている車を見ました。その時に、縁石が黒っぽくはっきり見えないように感じました。

夏みかんロードの黄色を市内にも塗ってほしいです。

高齢者は、特に区別がつきにくく、事故につながる可能性があります。

萩を老人に優しい町にしてほしいです。



(土木課)

縁石が見え難いため、縁石を夏みかんロードの黄色で市内にもっと塗ってほしいとのご提案について、回答させていただきます。

縁石を黄色に着色した場合、道路交通法では直線に着色すると駐停車禁止、破線に着色すると駐車禁止という路面標示になります。そのため、指定された箇所以外で黄色の着色を行うことはできません。

縁石が見え難いような箇所を具体的にご相談していただければ、縁石上部に反射材等を設置し、縁石の位置をわかりやすくする方法などを検討いたします。

道路管理者として、高齢者や障がい者の方に対し「人にやさしい道づくり」として視認性を向上させる施設整備を前向きに検討しておりますので、ご理解のほどよろしくをお願いします。

## 災害について

西日本豪雨災害から、5年前に起きた水害を思い出しました。あの時も、ほんの1時間で、水が出てあっという間の出来事でした。“なす術もない”とは、このことかと思うくらいの大ショックでした。

このような災害が、なぜ起こるのか考えた時、人間が己の都合の良い便利な生活をするあまり自然をないがしろにしたことも一つの原因ではないかと思えます。だからといって、元には戻れない今の生活様式です。自然の反発は、ますます大きいものになっていくのではと、空恐ろしくなります。

自然との共存を考えて、萩市ももっと根本である第一次産業を大事にしていくべきだと思えます。

(防災危機管理課)

平成25年7月28日の萩市東部集中豪雨では、1時間に100mmを超える雨が3時間続くなど大きな災害となりました。

その後、萩市では大きな災害は起きていませんが、全国的に見ると、各地で大きな災害が毎年発生しています。ご指摘の通り、この異常気象は大量生産・大量消費の人

類の利便性だけを考え、自然をないがしろにしてきた結果かもしれません。

防災危機管理課としては、平成 25 年災害を教訓に、通信機器の整備、各種ハザードマップの作成、防災講座を行うなど年々大きくなる自然災害への備えを引き続き行って参ります。

#### (環境衛生課)

萩市では、地球規模で進行している地球温暖化について、二酸化炭素の温室効果ガス排出削減に向けて、省エネの啓発活動などの取り組みを行っています。

また 3R (リデュース、リユース、リサイクル) のさらなる推進など、地球にやさしい取り組みを行い、持続可能な循環型社会の形成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしく願います。



#### (農林振興課)

近年の豪雨は、今まで経験したことのない規模で、想定をはるかに超える甚大な被害をもたらしているところです。

治山対策や河川対策を含め、国でも大きな見直しがされているところですが、想定を超えるような豪雨等気象変動への対策は、莫大な予算と時間を要すこともあり、早急に安全対策が施されることが難しいことに関しては、ご理解をいただきたいところです。

そこで、第一次産業としてどう対処していくかということですが、農林業農山村においては、なにより農地や水路農道等の農業用施設と森林の健全な管理保全が大切であると考えます。

農地や農業用施設の健全な維持、管理については、日本型直接支払制度により集落や地域住民が主体となり、農地や農業用施設の維持管理や改修を行い、地域や地域農業・自然環境を守るしくみが形成されています。この活動については、地域や集落で課題や問題点に取り組む上で、今まで以上に自然環境や農業用施設の維持管理へのきめ細かな配慮をしていくことが求められるものと考えます。

また、森林については、適期施業や伐採後の再造林など、健全な森林環境が保たれるよう配慮をしていく必要があります。

大きな気象変動に対し、たちまち太刀打ちのできることはないかもしれませんが、農業用施設の適切な維持管理活動や適期施業のための造林事業の活用など、農林振興課としても地域や集落等へ対して、指導や啓発活動を進めて参ります。

#### (水産課)

水産業・漁村には、安全で新鮮な水産物を安定的に供給する役割と、海域の環境や生態系を維持し、豊かな海を次代へ繋ぐ活動があります。

漁村人口の減少や漁業者の高齢化などから、その機能の発揮に支障が生じていることから、萩市では国の補助金を活用し、藻場の保全活動など環境・生態系の維持・回



復などに資する活動を支援しています。

### 子育て支援について

いろいろな支援策が考えられ実行されていますが、大人サイドからの方が多く感じます。子どもの育ちの支援の方が、特に必要ではないかと思えます。

乳幼児の時期に人との信頼関係と愛着関係が築かれ、自己肯定感をしっかり心に植え付け、自分の未来に向かって、明るく逞しく楽しんで進んでいける人間に育ててほしいと考えています。大人サイドの支援が進むほど、子どもと保護者の関係は希薄になっているのではと危惧しています。虐待やネグレクトが増えている現状を保護者支援で保護者の心の負担を軽減し、子どもたちに虐待の芽が向かないようにと親子離しが勧められています。これが、本当に虐待の軽減に繋がるのでしょうか。

人間として大事なことはなんでしょう。生きていく上で、大切なスキルとはどんなことでしょうか。その基盤になることを、どうしたら手に入れることができるでしょうか。第一歩は、親子関係・家族関係です。愛着と信頼に守られている安心感と自己肯定感が生きる力の源になっていくのです。親子離れを勧めていくことでは体得できません。これは、お父さん・お母さんに育てていく機会も失わせていることなのです。子どもが慈しまれ、可愛がられ、愛ある言葉をかけられていく中で、自然と培われていくものではないでしょうか。この期間を過ごさないと、人間の人間としての成長と未来はありません。

今、地域で、社会で子どもを育てると盛んに言っているようですが、子どもの育ちに地域や社会が責任を持てるのでしょうか。結局は、保護者を非難する言葉が出てくると思います。一番の犠牲者は、子ども、そして保護者です。どうしたら、子どもと楽しんで生活できるか、虐待に繋がらない対処法（気分転換）など、いろいろなやり方や情報をうまく伝えていくこと、親子が孤立しないように本音で話せる場や、親子で楽しいことを共有できる体験、子どもを産み育てることは、親として責任のある、とても素晴らしいということを寄り添い、見守り、応援や受け止めてあげることがいいのではないのでしょうか。

親子の関係、家族の関係、社会との関係が負の連鎖にならないよう早く手をうってほしいと願っています。

（健康増進課）

お子さんが地域で健やかに生まれ成長していくためには、お母さんが安心して出産し、家族や地域とのふれあいの中で子ども自身が多くの経験を重ね、健康的な生活習慣や自分を大切にできる気持ちを身につけることが重要と考えています。

萩市では「豊かな母性を育み、子どもが健やかに成長できる地域づくり」をめざし、すべての母子保健事業（健診・相談・健康教室等）および子育て支援において、親子の愛着形成に視点をあて、それを促せるような働きかけをしています。特に、乳幼児のいるお母さんお父さんに対しては、「抱きしめる子育て」や「イライラしない子育て



て」、食育の推進等、親子がゆったりとした気持ちで過ごせるような相談支援を子育て世代包括支援センターHAGUと一緒に対応しています。

また、市内の小中学校で、乳幼児ふれあい体験学習や思春期保健出前講座、メンタルヘルズ講座等を実施し、子どもを生み育てることのすばらしさや、性を大切にする気持ちおよび自己肯定感の向上を目指しながら、次世代育成にも取り組んでいます。

なお、妊娠から出産、子育てまでの総合相談窓口として、萩市子育て世代包括支援センターHAGUを萩市保健センター内に開設しています。専任の助産師、保健師もおりますので、どうぞお気軽にお声かけ、ご利用ください。

萩市子育て世代包括支援センターHAGU

萩市平安古209番地1 0838-25-2022 [hagu@city.hagi.lg.jp](mailto:hagu@city.hagi.lg.jp)

## こんな悩みありませんか？

**妊娠 出産 育児中 困りごと**

おっぱいは足りている  
泣いてばかりい  
初めての妊娠で心配...  
子育ててイライラす  
離乳食の進め方がわからない  
そんなときは  
産後大丈夫かな  
発達のことが心配  
子育てで知りたい受けた  
子育てをしていて孤独を感じる  
どうしよう...

へご相談ください

**HAGU ☎ 0838-25-2022**

**妊娠から出産・子育てを応援します！**

注目 萩市 産後ケア 充実しました

母乳相談

産後ショートステイ

産後デイケア



# 萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・  
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質  
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

